

農林水産省

革新的技術開発・緊急展開事業

平成29年度補正予算案 6,000百万円の内数

農林水産省
農林水産技術会議事務局
研究推進課

事業概要・目的

- 「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、我が国農林水産業の体質強化を図るため、外国産との差別化や更なる生産性の向上を可能にする技術を生み出し、農林漁業者や産地が速やかに活用できることが重要です。
- このため、農林漁業者が自分で解決できない技術的問題の解決や生産性の飛躍的な向上のため、農林漁業者が求める開発目標に向かって、分野の垣根を越えた研究勢力を結集し、実装までを視野に入れた技術開発を確実に進める必要があります。
- 具体的には、明確な開発目標の下、農林漁業者・企業（ベンチャー企業等）・大学・研究機関がチームを組んで、農林漁業者への実装までを視野に入れた技術開発を確実に推進します。

事業イメージ・具体例

【具体例：衛星リモートセンシングを活用した小麦（ゆめちから）の品質安定化】



衛星によるリモートセンシング

生育の早晩を把握

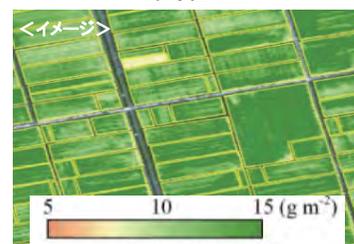


収穫する圃場の順番決定を支援



タンパク含量の推定

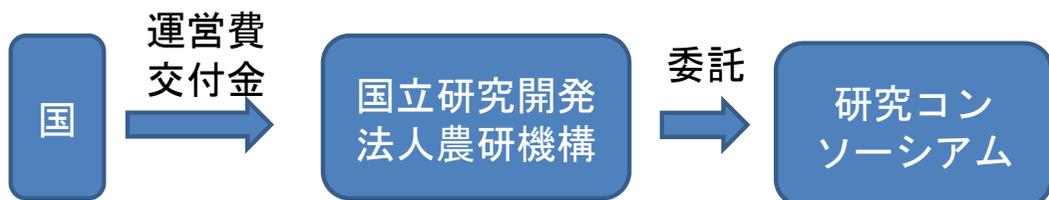
タンパク質含量マップ



- 衛星リモートセンシングを活用した収穫適期推定、タンパク含量予測などの先進技術を組み合わせ新たな生産体系の実証・普及を支援



資金の流れ



期待される効果

- リモートセンシングを活用した作物の適期・適切な管理による高品質化など、農業現場での社会実装を見据えた新たなイノベーションを促進

統計調査手法開発経費のうち人工衛星からの取得データを利用した 水稲の作柄予測手法等の開発

平成30年度予算案18百万円の内数（平成29年度予算額18百万円の内数）

農林水産省
統計部統計企画管理官

事業概要・目的

人工衛星からの取得データを利用した水稲の作柄予測手法等の開発

- アメダスデータに加え、人工衛星から取得されるデータを利用した水稲の作柄予測式を作成し、効率的な作柄予測手法を開発します。

資金の流れ

役務調達

国

民間事業者

事業内容

現在の水稲作柄予測

アメダスデータ

- ・気温
- ・日照時間
- ・降水量



実測データ

- 草丈
- 茎数
- 穂数
- もみ数

衛星データ導入

- ・GSMaP
- ・MODIS
- ・ひまわり等を想定

衛星データを利用した水稲作柄予測

アメダスデータ



実測データ



新たに利用可能な衛星データ

- ・地表面温度
- ・日射量
- ・光合成有効放射量
- ・植生指数

- これらのデータを利用した水稲の新たな作柄予測式を作成

衛星事業者、水稲に関する専門家等が参画する検討会を設置し、作柄予測手法について専門的見地から検証

期待される効果

- 調査の効率的実施
- 調査精度の維持・向上